

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
自立教材の作成 ～木工組立～	高	自立活動	

<ねらい>

普段自立訓練をしているが、身近な工具であるドライバーを使ってねじを止めたり、はずしたりして分解・組立体験をさせる教材がなかったので、新規に作成することにした。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

9cm幅の角材を厚さ1cmの板に切り出した。幅9cm長さ14cmの板(図1)に4カ所ネジ止めするための穴を開けて4枚と、その板どうしを固定するために幅1cmの角材を柱を4本に作成した。1cmと幅が小さいので同じ高さにねじ止めするのができないので、固定するねじ穴の高さを2カ所ずらせるように工夫した。柱にナットより少し小さな穴を開けてから(図2)、速乾性の接着ボンド入れてナットを打ち込んで固定した。(図3)



側面の板(図1)



柱(図2)



柱(図3)

柱と板はネジ2本ずつ使って固定した。(図4)板4枚と柱4本をネジで固定し、9cmの正方形の板をはめて、箱の形状にした。(図5)



組立(図4)



組立(図5)



生徒の様子

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

朝の自立活動の時間に生徒に取り組ませた。まず始めは事前に組み立てたもの(図5)を生徒に見せて、プラスドライバーを使ってネジをはずさせて分解させた。分解を経験させると、組立後のイメージができていたので、スムーズにネジ止めすることができた。

改善点としては、材料が木材であるため年輪があるため、穴を開けるときに1mm以下のズレが生じるときがあり、そのためねじとナットが合わないでねじが入らないときがあった。少し大きめの穴を開け直すことでスムーズに固定することができるようになった。ナットを柱に固定するとき速乾性のボンドを付けていたが、ねじを強めに固定するとナットが柱から外れることが何度か発生して再度接着し直すことになった。

使用したねじはプラスドライバーとマイナスドライバーのどちらでも使用できる形状になっていたのもよかった。

<その他(材料、費用、購入先等)>

使用した木材は建材加工会社より寄付、ねじとナットは100円ショップで購入